

日本語を母語としない子どもとともに
JSL 日本語指導教育研究会通信
(JSL= Japanese as a second language)

令和4年 第1号
発行者 会長 瀬村 進
日本語指導教育研究会 事務局

○第1回研修会 (オンライン開催)

全体研修1 適応指導

年度当初の日本語指導担当教員の仕事について、各学校での取り組みを知って、全体で情報を共有し、日本語担当教員の役割と関わりを確認する研修を行いました。研修では、事前に資料を共有し、当日は小グループに分かれて各学校の資料の説明や質疑応答をしました。各学校の状況に合わせた資料や取り組みの工夫を知ることで、それぞれに、自校で使用している資料を見直したり、他校の工夫を取り入れたりすることができそうです。年度当初の仕事をスムーズに進めることは、日本語指導を受ける児童の、よりよい新学期のスタートにつながります。毎年ブラッシュアップを進めていきたいです。

<当日の資料>

①校内の提案文書

- ・日本語教室経営(運営)案
- ・国際教育推進法案
- ・校内研修用資料 等

②年度初めの仕事に関する資料

- ・年度初めの仕事のチェックリスト
- ・家庭環境調査票の英語版
- ・在籍校での打ち合わせに使用する資料 等

- ・各校でどんな取り組みをしているか、校内の先生との連携や協力体制について知ることができた。
- ・他校で工夫していることを具体的に聞く機会がもって大変有意義だった。
- ・年度初めの仕事で、受け入れマニュアルのチェックシート等の資料を活用することを今後していきたいと思った。
- ・意見交流の時間がたくさんあったので、それぞれの学校の工夫を細かい部分まで聞くことができ、とてもよかった。
- ・配置校の先生から、外国人保護者への年度当初の保健等の書類の記入についての工夫を聞き、大変参考になった。

○全体研修2 拠点校・配置校及び小中学校連絡会

拠点校・配置校及び小中学校連絡会では、拠点校の小学校、配置校の小学校、拠点校の中学校、配置校の中学校のグループに分かれて話し合いをします。それぞれに課題が異なるので、課題についてより具体的に話し合うことができるようにしています。今回の連絡会では、第2・3回目の連絡会で話し合うテーマについて協議しました。当日は、多くの意見が出され、活発な話し合いとなりました。第2・3回の拠点校・配置校・小・中学校連絡会が楽しみです。